

# SAVE JAPAN プロジェクト 2014

## 鳥羽の海岸と藻場を守ろう! 第1回

# アマモ場の生きもの観察とアマモの種とり



- 日程：平成26年6月15日(日) 11:30-15:00
- 参加対象：どなたでもご参加いただけます(小学生未満は保護者同伴)
- 定員：50名(先着) ※裏面の案内を見て、お申込み下さい
- 場所：三重県鳥羽市浦村町大吉 1731-68 海の博物館・周辺の浜辺  
※参加者は海の博物館の入場が無料になります
- アクセス：無料送迎バス(事前予約制)をご利用いただけます。  
バスは定員が25名になりますので、お早目にご予約ください。

	津駅 ホテルサンルート津前	鳥羽駅 近鉄側出入口付近	海の博物館
行き	9:15	10:40	11:10
帰り	17:30	16:15	15:45

※車でお越しの方は海の博物館に無料駐車場があります

- 参加費：無料
- 内容：アマモ場は「海のゆりかご」とも呼ばれ、多様な生きものが暮らしています。また、水をきれいにする場所として、海で重要な役割をはたしています。今回はアマモ場について学びながら、そこに生息する生きもの観察を行います。そして、アマモ育成のため、アマモの種をとります。
- スケジュール：※昼食は済ませでご集合ください。

- 11:15-11:30 受付(博物館入口にて受付) ※潮の満ち引きの関係上、時間厳守をお願いします
- 11:30-12:15 オリエンテーション・海へ移動(15分程歩きます)
- 12:15-13:00 アマモの種とり(種が熟していれば実施します)
- 13:00-14:15 アマモ場の生き物探しと観察
- 14:15-14:45 博物館へ移動・着替え
- 14:45-15:00 ふりかえり・終了 ※終了後、時間のある方は海の博物館見学が可能

裏面へつづきます→

## ●持ち物

海に入れる服装（クラゲなどもあります。肌が露出しない長ズボンを履いてください）濡れてもよい靴と靴下（古い靴、長靴等。クロックス、サンダル等素足が出るようなものは不可）、着替え一式、タオル、軍手、水筒、敷物（荷物を置く際使用）、雨具（活動中はレインコートがお勧めです）、お持ちの方はアミ・バケツ（貸出可）帽子（日差しが強いです）

## ●雨天時について

雨天の場合もレインコートを来て実施予定。大雨の場合、プログラムを変更し室内で実施します。荒天が予想される場合は前日 18 時まで中止のご連絡をいたします。

## ●当日の問い合わせ先

海の博物館 TEL0599-32-6006

## ●申込方法

電話・ハガキ・FAX・E-MAILのいずれかの方法で、次の項目を明記し、大杉谷自然学校までお申込下さい。

(<http://savejapan-pj.net/>からも申込可能)

- ①参加者氏名・ふりがな ②年齢（学年） ③性別
- ④郵便番号・住所 ⑤電話番号（お持ちの方は当日連絡がつく携帯電話）
- ⑥集合解散場所と集合方法（無料バス利用の有無）

※募集締切り：平成26年6月13日（金）

※先着順。定員になり次第締め切ります。

## ★今後の予定★

- 第2回 アマモ場の生き物観察と  
浜辺のゴミ拾い  
9月23日（祝・火）
- 第3回 アマモの植ええ  
11月16日（日）

- 共催：特定非営利活動法人大杉谷自然学校・公益社団法人日本環境教育フォーラム  
認定特定非営利活動法人日本 NPO センター
- 協力団体：海の博物館
- 協賛：株式会社損害保険ジャパン・日本興亜損害保険株式会社

## ☆SAVE JAPANプロジェクトとは☆

47 都道府県の NPO と地域の皆さま、損保ジャパン・日本興亜損保が一緒になって、全国各地の「いきものが住みやすい 環境づくり」を行うプロジェクトです。お客様に Web 約款（\*1）をご選択いただくことにより、寄付を行い、地域の環境団体や NPO 支援センター、日本 NPO センターと協働で、市民参加型の屋外イベントを開催します。参加募集の案内や、開催報告など随時ホームページに掲載。地域みんなで参加できるイベントを目指します。（<http://savejapan-pj.net/>）

※Web 約款とは、保険などの説明書を「紙」の印刷物ではなく、ホームページ上で閲覧できる仕組みです。

## お申し込み・お問い合わせ



『NPO法人 大杉谷自然学校』  
〒519-2633 三重県多気郡大台町久豆199  
TEL:0598-78-8888 FAX0598-78-8889  
E-mail:info@osugidani.jp